

## 指導と評価の計画

( 全 46 時間 )

## 単元名 かけ算 ( 1 )

過 時 間 ・ 見 通 し	ね ら い ・ 主な学習活動	学習への支援及び留意点	評価項目 ( 評価方法 ) 「十分満足できる」と判断される状況 「努力を要する」状況の児童への手だて
つ か し む	1 <b>乗法の用いられる場面の特徴をつかむ。</b> ・皿にのっているものの数に着目して考え、気付いたことを話し合う。 ・皿に同じ数ずつのっているものの、全部の数を求める。  【数学的な考え方】同じ仲間に入るものと入らないものについて考えようとする。(集合の考え)	・児童の日常生活から計算場面を取り上げ、具体物を用いて体験することで、乗法の用いられる場面の特徴に気付くようにする。 ・皿に同じ数ずつのっているものとそうでないものを見比べながら、気付いたことを自由に表現できるようにする。 ・順に数えたり、たし算を使って、全部の数を求める。	【関・意・態】 皿にのっているものの数に着目して、乗法の用いられる場面の特徴について、考えようとしている。(観察・発言) 具体物の数に着目して、気付いたことを表現しながら考えている。 乗法の用いられる場面の特徴に気付くために、1皿にのっているものの数に着目するように助言する。
	2 <b>全体の数を、「一つ分の大きさ」と「幾つ分」でとらえることができる。 乗法の式の表し方とよみ方を理解する。 乗法の記号「×」や「かけ算」の用語、乗法の意味を理解する。</b> ・全体の数を求めるのに、何が分かればよいか考える。 ・2個ずつ5箱分の総数を $2 \times 5 = 10$ の式で表すことを知る。 ・「かけ算」の言葉を知り、乗法の意味について理解する。 【数学的な考え方】同じ数ずつのものは、まとめて数えることができるよさに着目する。(基本的性質の考え)	・一つ分の大きさが決まっている乗法の用いられる場面の特徴から、全体の数を求める方法を探り、新しい計算をつくり出すようにする。 ・具体物の操作により、同じ数ずつのものは、まとめて数えることができるよさに気付くようにする。	【考え方】 乗法の用いられる場面について、もともになる大きさやその幾つ分を考えることができる。(発言・ワークシート) 具体物を、「一つ分の大きさ」と「幾つ分」に着目して考えることができる。 一つの皿だけ取り上げて、具体物の数を数え、他の皿も同じ数ずつのっていることを、具体物を操作しながらつかむようにする。  【知・理】 乗法の意味、式の書き方が分かる。(観察・発言・ワークシート) 具体的な場面でつかんだ乗法の意味について、自分の言葉で表現できる。 「一つ分の大きさ」と「幾つ分」のキ・ワードを基に考え、表現できるようにする。
	3 <b>「一つ分の大きさ」や「幾つ分」の数に着目し、乗法の式に表すことができる。</b> ・絵の中から同じ数ずつのものを探し、乗法の式に表す。  【数学的な考え方】事柄や関係を式に表そうとする。(式についての考え)	・「一つ分の大きさ」と「幾つ分」に着目して数量をとらえる見方に慣れるようにする。 ・具体物を数字に置き換えて式に表すよさに気付くとともに、式をよむことにも目が向けられるようにする。	【表・処】 「一つ分の大きさ」と「幾つ分」に着目し、乗法の式に表すことができる。(発言・ワークシート) 絵の中から「一つ分の大きさ」と「幾つ分」がわかり、まちがわずに乗法の式に表すことができる。 まず「一つ分の大きさ」に着目し、全体の数を求めるときに乗法が用いられるのを探して式に表すようにする。
4 <b>単位量の幾つ分を意識してブロックを並べ、総数を求めることができる。</b> ・絵を見て、数をブロックに置	・絵の中のボールやいちごをブロックと対応させ、乗法の計算について理解できるようにする。	【考え方】 具体物をブロックに置き換えて、考えることができる。(観察・発言) 数をブロックに置き換えて自分で操作しな	

追 求 す る		き換えて考える。 【数学的な考え方】操作に基づいて考えようとする。(操作の考え)		がら、総数の求め方を考えることができる。 まず「一つ分の大きさ」をブロックに置き換え、次に「幾つ分」をブロックで表すように、操作の手順を示す。
	5	<b>連続量について、乗法の式に表すことができる。</b> 1個分・2個分・3個分のことを1倍・2倍・3倍ということを知る。 乗法の式と同数累加の式は、同じ答えになることをつかむ。 ・テープを切り取る作業を通して考える。 ・「倍」の言葉と意味を知る。 ・乗法の答えを、同数累加の考えで求める。  【数学的な考え方】乗法の意味に基づいて考えようとする。(操作の考え)	・実際にテープを切る作業的な活動を取り入れ、一つ分と全体の長さを意識できるようにする。 ・既習事項と関連付けて考える活動を取り入れるようにする。	【知・理】 「倍」の意味が分かる。(発言・ワークシート) 切り取ったテープを操作しながら「倍」について考え、乗法の式と対応させながら理解することができる。 切り取ったテープをワークシートに貼り、1個分は1倍と記入し、テープを貼った図と対応させながら理解できるようにする。 【考え方】 乗法の答えを求めるときに、同数累加の考えを用いればよいことが分かる。(発言・ワークシート) 乗法の答えを求めるときに、同数累加の考えを用いればよいことが分かり、乗数が1増えると答えが被乗数分増えることに気付く。 ブロック操作を通して、乗法の答えを同数累加で求め、答えが同じになることをつかむようにする。
	6	<b>学習したことを確かめる。</b> ・乗法を使って問題解決をする。  【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	・「一つ分の大きさ」と「幾つ分」を意識するようにし、乗法の用いられる場面の理解を深める。	【表・処】 「一つ分の大きさ」や「幾つ分」に着目し、乗法の式に表すことができる。(発言・ワークシート) 問題場面を把握し、乗法の式に表して解決することができる。 問題文を読んで、学習した乗法の用いられる場面と同じことを手掛かりに、演算決定をするように助言する。
7	<b>の数を乗法の式で表すことができる。</b> ・1つ分の数をいろいろ考えて、の数を乗法の式に表す。 ・並んでいる を $3 \times 4$ になるように、線で囲む。 【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	・「一つ分の大きさ」をいろいろ考えて、総数を求める乗法の式に、表すようにする。	【考え方】 任意のまとまりの幾つ分かで、乗法の式に表せるかを考えることができる。(発言・ワークシート) 問題を理解し、乗法の式の表し方を自分で考えることができる。 例を示しながら問題の理解を図り、式の表し方を見付けるようにする。	

単元名 かけ算(2)

追 求 す る	8	<b>1そうに2人ずつ乗っているボートの何そう分かの人数を求める場面を通して、2の段の九九を構成する。</b> ・1そう分～5そう分の人数を調べる。 ・6そう分～9そう分の人数を調べる。 ・「九九」の用語を知る。 【数学的な考え方】事柄や	・被乗数が2になる問題場面を提示し、式で表し、九九を構成するようにする。 ・「九九」の用語を知らせ、各段の九九の構成について意欲的に追求できるようにする。	【知・理】 2の段の九九の構成が分かる。(発言・ワークシート) さし絵を手掛かりに乗法の場面をつかみ、九九を構成することができる。 さし絵とブロックを対応させ、数の増加を確かめながら九九を構成していく。
	2	の		



追 求 す る	13	<p>段 の 九 九</p> <p>をよんだりする。(式についての考え)</p> <p><b>3の段の九九の呼称を知り、唱えることができる。3の段の九九を用いて問題を解決することができる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3の段の九九の呼称を知り、九九カードを作る。</li> <li>九九の場面を絵で表したり、3の段の九九を使って問題を解決する。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】表現の基本原則に基づいて考えようとする。(表現の考え)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3×3「さざん」、3×6「さぶろく」、3×8「さんば」の唱え方に注意する。</li> <li>反射的に九九を唱えることができるようにするとともに、問題場面で活用する力も育てていくようにする。</li> </ul>	<p>ようにする。</p> <p>【表・処】</p> <p>3の段の九九を唱えることができる。(発表・ワークシート)</p> <p>5の段の九九を唱えることができ、問題場面で適用できる。</p> <p>九九の構成を確かめながら九九カードを作り、唱えることができるようにする。</p>
	14	<p>4 の 段</p> <p><b>1台に4個ずつタイヤをつけた自動車何台分かのタイヤの数を求める場面を通して、4の段の九九を構成する。4の段の九九の答えは、4ずつ多くなっていることに気付く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1台分～4台分のタイヤの数を調べる。</li> <li>5台分～9台分のタイヤの数を調べる。</li> <li>1台増えると、タイヤは何個増えるか調べる。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面から、4の段の九九の学習であることをつかむようにする。</li> <li>自動車3台分のタイヤの数を3×4と立式する児童がいることから、問題場面で随時「一つ分の大きさ」×「幾つ分」の乗法の意味を確かめるようにする。</li> <li>乗数が1増えると積は4増えるという考えを手掛かりに、正しく九九を構成し、唱えることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知・理】</p> <p>4の段の九九の構成が分かる。(発言・ワークシート)</p> <p>さし絵を手掛かりに乗法の場面をつかみ、九九を構成することができる。</p> <p>さし絵とブロックを対応させ、数の増加を確かめながら九九を構成していく。</p> <p>【考え方】</p> <p>4の段の九九の答えは、4ずつ大きくなっていることが理解できる。(発言・ワークシート)</p> <p>乗法九九の答えに関心をもち、被乗数分ずつ増えていくことが理解できる。</p> <p>ブロックを使って九九を構成することにより、答えが4ずつ増えることを理解できるようにする。</p>
	15	<p>の 九 九</p> <p><b>4の段の九九の呼称を知り、唱えることができる。4の段の九九を用いて問題を解決することができる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4の段の九九の呼称を知り、九九カードを作る。</li> <li>九九の場面を絵で表したり、4の段の九九を使って問題を解決する。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】表現の基本原則に基づいて考えようとする。(表現の考え)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九九を唱えるときには、どの段もすらすら言える、逆からもすらすら言える、途中から言える、一つを取り上げて言えるなどの方法を取り入れ、九九の定着を目指すようにする。</li> </ul>	<p>【表・処】</p> <p>4の段の九九を唱えることができる。(発表・ワークシート)</p> <p>4の段の九九を唱えることができ、問題場面で適用できる。</p> <p>九九の構成を確かめながら九九カードを作り、唱えることができるようにする。</p>
	16	<p>の 九 九</p> <p><b>九九の式と答えを別々に書いたカードを作り、「答え取り」のゲームをしながら、2の段・3の段・4の段・5の段の九九の理解を深める。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに「答えとり」のゲームをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードは持ちやすさやゲームのスペースを考慮して、作成するようにする。</li> <li>児童が楽しみながら力を付けることができるようにゲームを取り入れる。</li> </ul>	<p>【関・意・態】</p> <p>進んでゲームに参加し、九九の答えを考えようとしている。(観察)</p> <p>「九九を正確に覚える」という目的を意識しながら、ゲームを楽しんでいる。</p> <p>落ち着いて答えを考えるように助言し、カードをとるチャンスを与えるようにする。</p>

追 求 す る		【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)		
	17	式と答えが同じになるカードを合わせるゲームを通して、九九の理解を深める。 ・グループごとに「カード合わせ(1)」のゲームをする。 【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	・前時に使ったカードを使用する。 ・トランプの「ばばぬき」「じじぬき」と同じ方法で行うことを知らせる。	【関・意・態】 進んでゲームに参加し、九九の答えを速く、正確に考えようとする。(観察) 「九九を正確に覚える」という目的を意識しながら、ゲームを楽しんでいる。 ゲームのやり方を確認してから始めるようにする。
	18	式と式を見て、答えの大きさを比べるゲームを通して、九九の習熟を図る。 裏返しにしたカードを開き、式と答えが同じになるカードを合わせるゲームを通して、九九の習熟を図る。 ・グループごとに「大きさを比べ」「カード合わせ(2)」のゲームをする。 【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	・ゲームをしながら、児童が自主的に考えたルールなども取り入れるようにし、ゲームに対する意欲を高めていく。 ・算数の時間以外にもゲームができるような働きかけをし、九九の定着を図っていく。	【関・意・態】 進んでゲームに参加し、九九の答えを速く、正確に考えようとする。(観察) 「九九を正確に覚える」という目的を意識しながら、ゲームを楽しんでいる。 ゲームのやり方を確認してから始めるようにする。
	19	既習事項の理解を深める。 ・2～5の段までの九九を使って、問題を解決する。 【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	・問題場面から何段の九九を適用したらよいかをつかみ立式して答えを求めるようにする。	【表・処】 乗法九九を使って問題を解決することができる。(ノート) 問題場면을把握し、立式し答えを求めることができる。 問題場面から何段の九九が使えるか考えるように助言する。
	20	既習の九九を使って、全体の枚数を求めることができる。 ・全部の切手の数の求め方を考える。 ・乗法のきまり(交換法則)を知る。 【数学的な考え方】基本法則や性質に着目する(基本的性質の考え)	・既習の九九を使って解く方法を考え、発表し合う活動を取り入れる。 ・並んだ切手を既習の九九が使える2つの部分に分けたり、逆にしても答えが同じになる乗法の交換法則に気付いていくようにする。	【考え方】 乗数を分解したり、交換法則を利用して、多様な解決方法を考えることができる。(発言・ワークシート) 自分なりの方法で問題の解き方を考えることができる。 切手を2つの部分に分けて考えることもできることを助言する。

単元名 かけ算(3)

追 求 す る	21 の	1箱に6個ずつ入っているチーズ何箱分の個数を求める場面を通して、6の段の九九を構成する。 乗数が1増えると、積は被乗数分だけ増えることを理解する。 ・3箱分のチーズの数を求め、6の段の九九を構成する。 ・乗数が1増えると答えは幾つ増えるかを調べる。 【数学的な考え方】変数問	・被乗数が6になる問題場면을提示し、式で表し、九九を構成するようにする。 ・「かけられる数」「かける数」「答え」の用語を使えるようにする。 ・6の段のどこをとっても、乗数が1増えると、答えは6ずつ増えることを確かめる。	【考え方】 乗数が1増えると、積は被乗数分だけ増えることを理解することができる。(発言・ワークシート) 乗数の増加と被乗数の増え方に関心を持ち理解することができる。 ブロック操作を通して、被乗数の増加を理解するようにする。

追 求 す る 見 通	段	の対応のルールを見付ける。(関数的な考え)	
	22 の 九 九	<p>6の段の九九の呼称を知り、唱えることができる。6の段の九九を用いて問題を解決することができる。</p> <p>・6の段の九九の呼称を知り、九九カードを作る。</p> <p>・九九の場面を絵で表したり、6の段の九九を使って問題を解決する。</p> <p>【数学的な考え方】表現の基本原則に基づいて考えようとする。(表現の考え)</p>	<p>・6の段の九九を1から順に唱えたり、順序をばらばらにしても答えが出せるように練習する。</p> <p>【表・処】</p> <p>6の段の九九を唱えることができる。(発表・ワークシート)</p> <p>6の段の九九を唱えることができ、問題場面で適用できる。</p> <p>九九の構成を確かめながら九九カードを作り、唱えることができるようにする。</p>
	23 7 の 段 の	<p>1箱に7本ずつ入っているサインペンの何箱分かのサインペンの本数を求める場面を通して、7の段の九九を構成する。7の段では、乗数が1増えると、積は被乗数の7だけ増えることを理解する。乗法の交換法則が成り立つことに気付く。</p> <p>・4箱分の本数を求め、7の段の九九を構成する。</p> <p>・乗数が1増えると答えは幾つ増えるか調べる。</p> <p>【数学的な考え方】基本法則や性質に着目する(基本的性質の考え)</p>	<p>・各自に合った方法で、7の段の九九を構成する。</p> <p>・7の段の九九を構成しながら、または構成した後に、ブロック操作を通して、<math>7 \times 2</math>の答えは<math>2 \times 7</math>と同じであること(交換法則)をつかむようにする。</p> <p>・既習の九九の交換法則により、<math>7 \times 6</math>までの九九を構成することもできる。</p> <p>・<math>7 \times 7</math>以降の九九は、乗数が1増えるときの答えの増え方の学習経験から、7ずつたしていけばよいことを推測し、<math>7 \times 7 = 42 + 7 = 49</math>と考えていくようにする。</p> <p>【考え方】</p> <p>乗数の増え方と積の増え方を関係付けることができる。(発言・ワークシート)</p> <p>乗数が1増えると、積は被乗数分増えることを理解している。</p> <p>ブロック操作を通して、積の増え方を理解していくようにする。</p>
	24 九 九	<p>7の段の九九の呼称を知り、唱えることができる。7の段の九九を用いて問題を解決することができる。</p> <p>・7の段の九九の呼称を知り、九九カードを作る。</p> <p>・九九の場面を絵で表したり、7の段の九九を使って問題を解決する。</p> <p>【数学的な考え方】表現の基本原則に基づいて考えようとする。(表現の考え)</p>	<p>・7の段では、4「し」7「しち」の発音が似ているために唱えにくさがある。一人一人の児童の唱え方に耳を傾けるようにする。</p> <p>【表・処】</p> <p>7の段の九九を唱えられ、7の段の九九の適用場面に乘法を使うことができる。(発表・ワークシート)</p> <p>7の段の九九を唱えることができ、問題場面で適用できる。</p> <p>九九の構成を確かめながら九九カードを作り、唱えることができるようにする。</p>
25	<p>テープ1人分が8cmのときの何人分かの長さを求める場面を通して、8の段の九九を構成する。8の段の九九の構成を通して、答えの増え方や交換法則に気付く。</p>	<p>・テープを取り上げ、長さを求めることにより、連続量についても乘法が適用できるようにする。</p> <p>・数の乗法的な分解の仕方を知り、数の見方を広げるようにする。</p> <p>【考え方】</p> <p>7の段までの考え方をを用いて、8の段の九九を構成することができる。(発言・ワークシート)</p> <p>既習事項を使って、新しい九九を構成することができる。</p> <p>既習の九九や乘法のきまりを使って考える</p>	

追 求 す る	し 2 の 段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3人分のテーブルの長さを求め、8の段の九九を構成する。</li> <li>・ 乗数が1増えると答えは幾つ増えるかを調べる。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】 (類推的な考え方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗数を分解することで、既習の九九を組み合わせると新しい九九を構成できるように気付くようにする。</li> </ul> $8 \times 4 = 8 \times 1 + 8 \times 3$ $= 8 \times 2 + 8 \times 2$	<p>ように助言し、既習事項を使って考えるよさに気付くことができるようにする。</p>
	26 の 九 九	<p><b>8の段の九九の呼称を知り、唱えることができる。8の段の九九を用いて問題を解決することができる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8の段の九九の呼称を知り、九九カードを作る。</li> <li>・ 九九の場面を絵で表したり、8の段の九九を使って問題を解決する。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】表現の基本原則に基づいて考えようとする。(表現の考え)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年の除法の仮商を立てる学習を見越して、上がり九九や下がり九九が身に付くように練習をしていく。</li> <li>・ 生活の中にも「8個ずつのもの」があることを知らせ、自ら見付けてみるように働きかける。ものを「個ずつ」とみる見方を育てていく。</li> </ul>	<p>【表・処】</p> <p>8の段の九九を唱えられ、8の段の九九の適用場面に乘法を使うことができる。(発表・ワークシート)</p> <p>8の段の九九を唱えることができ、問題場面で適用できる。</p> <p>九九の構成を確かめながら九九カードを作り、唱えることができるようにする。</p>
	27 の 九 段	<p><b>1チーム9人の野球チームで何チームかの人数を求める場面を通して、9の段の九九を構成する。9の段の九九の構成を通して、答えの増え方や交換法則に気付く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4チームの人数を求め、9の段の九九を構成する。</li> <li>・ 乗数が1増えると答えは幾つ増えるかを調べる。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】 (類推的な考え方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>9 \times 1</math>と<math>9 \times 9</math>以外は、交換法則を使うと既習の九九で9の段の九九を構成することができる。</li> <li>・ 被乗数を分解し、既習の九九を組み合わせると9の段の九九を構成することもできることに気付かせていくようにする。</li> </ul> $9 \times 5 = 2 \times 5 + 7 \times 5$ $= 3 \times 5 + 6 \times 5$	<p>【考え方】</p> <p>8の段までの考え方をを用いて、9の段の九九を構成できる。(発言・ワークシート)</p> <p>既習事項を使って、新しい九九を構成することができる。</p> <p>既習の九九や乗法のきまりを使って考えるようにし、既習事項を使って考えるよさに気付くことができるようにする。</p>
	28 の 九 九	<p><b>9の段の九九の呼称を知り、唱えることができる。9の段の九九を用いて、問題を作り、解決することができる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9の段の九九の呼称を知り、九九カードを作る。</li> <li>・ 九九の場面を絵で表したり、9の段の九九を使って問題を解決する。</li> <li>・ 9の段の九九の答えを見て、数字の並び方の特徴を見付ける。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】表現の基本原則に基づいて考えようとする。(表現の考え)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作ったカードで表の式と裏の答えを確かめるときには覚えたカードと間違えたカードを分けるなど工夫して九九を唱えることができるようにしていく。</li> <li>・ 9の段の九九の答えは、一の位と十の位の数字をたすとどれも9になっていることのおもしろさを、児童が発見できるようにする。</li> </ul>	<p>【表・処】</p> <p>9の段の九九を唱えられ、9の段の九九の適用場面に乘法を使うことができる。(発表・ワークシート)</p> <p>9の段の九九を唱えることができ、問題場面で適用できる。</p> <p>九九の構成を確かめながら九九カードを作り、唱えることができるようにする。</p>
29 1	<p><b>3の段、2の段の九九の答えからケーキの数を類推して、1の段の九九を構成する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被乗数が1になる問題場면을提示し、式で表し、九九を構成するようにする。</li> </ul>	<p>【考え方】</p> <p>3の段、2の段から類推し、1の段を構成できる。(発言・ワークシート)</p> <p>既習の九九を活用し、新しい九九を構成す</p>	

追	の 段	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面をつかみ、1の段の九九を構成する。</li> </ul> <b>【数学的な考え方】</b> (類推的な考え方)	ることができる。 問題場面が同じことから、既習の九九と同様に式に表すことができることを確かめ、1の段の九九を構成していく。	
	30 の 九 九	<ul style="list-style-type: none"> <li>1の段の九九の呼称を知り、唱えることができる。</li> <li>1の段の九九の場面の絵がかける。</li> <li>1の段の九九の呼称を知り、九九カードを作る。</li> <li>九九の場面を絵で表す。</li> </ul> <b>【数学的な考え方】</b> 表現の基本原則に基づいて考えようとする。(表現の考え)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1の段の九九は被乗数と答えが同じになることから、特別な九九と受け止める児童もいる。</li> <li>問題場面から類推の考えを用いて、考えるようにする。</li> <li>既習の九九から <math>\times 1</math> を取り出し、交換法則を用いて1の段の九九を構成することもできる。</li> </ul>	<b>【考え方】</b> 1の段の九九を唱えられ、1の段の九九の適用場面に乘法を使うことができる。(発表・ワークシート) 1の段の九九を唱えることができ、問題場面で適用できる。 九九の構成を確かめながら九九カードを作り、唱えることができるようにする。
求	31	<b>問題文の仕組みを読み取って、加法や減法・乗法の演算決定をし、乗法の理解を深める。</b> <b>具体物の操作をもとに、解き方を絵や図、式や数字、言葉を使って分かりやすく説明できる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題文を読み、既習の計算を用いて問題を解決する。</li> </ul> <b>【数学的な考え方】</b> 事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の場面を読み取って演算決定をする力を伸ばすようにする。</li> <li>2つのものを合わせるのか取り除くのか、同じものを幾つかまとめて数えるのかなどを判断の根拠とし、演算決定をする着眼点をつかむようにする。</li> </ul>	<b>【考え方】</b> 問題の仕組みを読み取り、演算決定をすることができる。(発言・ワークシート) 問題場面的に正確に把握して演算決定をすることができる。 問題文をよく読んで場面の状況を思い浮かべ、合わせるのか取り除くのか、まとめて数えるのかなどの状況から、演算決定をするように助言する。
	32	<b>既習事項の理解を深める。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>6～9の段の九九と1の段の九九を使って、問題を解決する。</li> </ul> <b>【数学的な考え方】</b> 事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法九九が正しく覚えられているかを確かめたり、文章題で九九が活用できるかを確かめたりする。</li> </ul>	<b>【表・処】</b> 6～9の段の九九と1の段の九九を使って問題を解決することができる。(ノート) 学習した九九を使って、問題を解決することができる。 九九を正しく覚えられるように反復練習をする。
	33	<b>既習事項の確かめをする。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の九九を使って、問題を解決する。</li> </ul> <b>【数学的な考え方】</b> 事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面から必要な九九を選んで、問題を解決することができるようにする。</li> </ul>	<b>【表・処】</b> 6～9の段の九九と1の段の九九を使って問題を解決することができる。(ノート) 学習した九九を使って、問題を解決することができる。 九九を正しく覚えられるように反復練習をする。
る	34	<b>乘法のお話作りを通して、乗法の用いられる場面の理解を深める。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「かけ算の本」を作る。</li> </ul> <b>【数学的な考え方】</b> 表現の基本原則に基づいて考えようとする。(表現の考え)	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法の用いられる場面を構成し、式や絵で表しながら「かけ算の本」を作ることを通して、乗法の習熟を図る。</li> </ul>	<b>【関・意・態】</b> 素材や絵を考えて、問題作りをしようとしている。(作成した「かけ算の本」) 身の回りから乗法の適用場面を考え、工夫して問題作りに取り組んでいる。 これまでの学習で出会った問題を思い出し似たような問題を考えるように助言する。
	35	<b>一人ぼっちを作らないように座席をとり、乗法の式を作ることができる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>座席のとり方を考え、乗法の式に表す。</li> </ul> <b>【数学的な考え方】</b> 事柄や関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を把握し、図を用いて考えを進めるようにする。</li> </ul>	<b>【考え方】</b> 1人ぼっちを出さない座り方から、かけ算の式を考えることができる。(発言・ワークシート) 図を用いて考えを確かめ、問題を解決することができる。 問題を丁寧に説明し、何を求めればよいか

	を式に表したり、式をよんだりする。(式についての考え)	つかむようにする。図を提示し、線で囲む等して考えるようにする。
--	-----------------------------	---------------------------------

単元名 九九を見つけよう

深	36	<p><b>身の周りに乗法が用いられる場があることに気付き、乗法九九を探す計画を立てる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の周りで乗法九九を探す。</li> <li>探検に行く計画を立てる。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】身に付けた知識や考え方を基に、より新しいものを発見していこうとする。(発展的な考え方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の周りで乗法の用いられる場面を探しながら、乗法を活用する力を育てる。</li> <li>主体的に探検が進められる計画が立てられるように助言する。</li> </ul>	<p>【関・意・態】</p> <p>身の周りから、乗法の用いられる場面を見付けようとしている。(観察・行動・発言)</p> <p>「一つ分の大きさ」や「幾つ分」に着目して、乗法の用いられる場面を見付けている。具体物を見ながら、「一つ分の大きさ」や「幾つ分」について考えるようにする。</p>
	37	<p><b>計画にしたがって、乗法九九を見付けることができる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちで考えた場所に行き、乗法九九を見付けて記録する。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】身に付けた知識や考え方を基に、より新しいものを発見していこうとする。(発展的な考え方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の気付きや発言やつぶやきを共感的に受け止めながら賞賛し、乗法が適用できる理由を確かめていくようにする。</li> <li>デジタルカメラで児童の活動を記録し、新聞にまとめる際に活用できるようにする。</li> </ul>	<p>【考え方】</p> <p>乗法の意味に基づき、適用場面を探し、適用できる理由について考えている。(観察・発言・応答)</p> <p>乗法の用いられる場面を探し、式に表したり、適用できる理由について考えている。身の周りの具体物から、「一つ分の大きさ」と「幾つ分」を見付け出し、乗法の用いられる場面を探すようにする。</p>
	38	<p><b>見付けた乗法九九を新聞にまとめることができる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見付けたものを写真や式などで表し、新聞にまとめる。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよもうとする。(式についての考え)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見付けたものを絵や写真などで効果的に表現し、式、乗法が適用できる理由を記入するようにする。</li> </ul>	<p>【表・処】</p> <p>見付けたものを、分かりやすくまとめることができる。(観察・新聞)</p> <p>見付けたものの中から、乗法九九が効果的にあらわれているものを選び、工夫してまとめようとしている。</p> <p>分かりやすくまとめるために、絵や写真の使い方を助言する。</p>
る	39	<p><b>新聞を発表し合い、乗法九九の活用について理解を深める。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞を発表し、見付けたものについて話し合う。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】身に付けた知識や考え方を基に、より新しいものを発見していこうとする。(発展的な考え方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が見付けたものを発表することを通して、理解を確実にし、一人一人が計算の活用について自信をもてるように支援する。</li> </ul>	<p>【知・理】</p> <p>身の周りに、乗法九九が用いられる場面があることが分かる。(発表・話し合い)</p> <p>発表や話し合いの時に、「一つ分の大きさ」と「幾つ分」を意識しながら発言をしている。</p> <p>「一つ分の大きさ」と「幾つ分」を意識しながら発表を聞くように助言する。</p>
	見通し3			

単元名 かけ算(4)

深	40	<p><b>各段の九九を一枚の表にする工夫を通して、九九表の仕組みを理解し、九九表を完成することができる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1～9の段までの九九を振り返り、1枚の九九表に表す。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】基本法則や性質に着目する(基本的性質の考え)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの乗法九九の学習を基に、一枚の九九表にまとめるようにする。</li> <li>表にまとめながら児童が気付いたことなどを把握し、次時に生かすようにする。</li> </ul>	<p>【表・処】</p> <p>乗法九九の表を完成することができる。(作成した九九表)</p> <p>これまでの九九の学習をもとに、九九表を完成することができる。</p> <p>各段の九九を確かめながら、表にまとめるようにする。</p>
	41	<p><b>九九表をもとに、被乗数、乗数、積の関係を確かめたり、いろいろなきまりや特徴を見付け出したりする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九九表を見て、秘密を発見し、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九九表の中に見られるきまりや特徴について、興味をもって追求できるようにする。</li> <li>個々の着目点や発見を取り上げ、考えを確かめながら</li> </ul>	<p>【考え方】</p> <p>九九表のよさに気付き、九九のきまりや特徴を見付けることができる。(発表・ワークシート)</p> <p>九九表の数字の並びに関心を持ち、きまりや特徴を見付けることができる。</p>
め				

る		<p>【数学的な考え方】基本法則や性質に着目する（基本的性質の考え）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広めていくようにする。</li> <li>九九を一枚の表にまとめることのよさに気付かせていきたい。</li> </ul>	<p>着目する観点を与え、表の特徴を見付けやすくする。</p>
	42	<p><b>九九表や具体物の操作をもとに、乗法の交換法則を理解する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九九表を見て、調べる。</li> <li>乗法の交換法則についてまとめ、交換法則を用いて問題を解く。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】基本法則や性質に着目する（基本的性質の考え）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでも繰り返し学習してきた乗法の交換法則についてまとめ、理解の定着を図るようにする。</li> </ul> <p>【考え方】 被乗数と乗数に着目して、答えが同じになる理由を説明することができる。（発表・話し合い） 具体物や図を操作しながら、答えが同じになるわけを説明することができる。 具体物の操作を通して、一つずつ答えを確かめ、乗法の交換法則が成り立つことを理解できるようにする。</p>
深	43	<p><b>既習事項の理解を深める。かけ算ゲームの仕方を理解し、楽しみながらゲームをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かけ算ゲームのルールを理解し、ゲームをする。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよもうとする。（式についての考え）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かけ算ゲームの仕方をつかみ、九九を使いながら楽しくゲームに取り組めるようにする。</li> </ul> <p>【関・意・態】 乗法を活用して、楽しくゲームをしている。（観察） 乗法の学習を生かして、ゲームを行っている。 ゲームの仕方を説明し、迷わずにできるようにする。</p>
	44	<p><b>かけ算ゲームの仕方を理解し、楽しみながらゲームをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かけ算ゲームのルールを理解し、ゲームをする。</li> <li>ゲームに勝つための作戦を考える。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよもうとする。（式についての考え）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かけ算ゲームの仕方をつかみ、九九を使いながら楽しくゲームに取り組めるようにする。</li> </ul> <p>【関・意・態】 乗法を活用して、楽しくゲームをしている。（観察） 乗法の学習を生かして、ゲームを行っている。 ゲームの仕方を説明し、迷わずにできるようにする。</p>
め	45	<p><b>既習事項の確かめをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九九表を用いた問題を解く。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】事柄や関係を式に表したり、式をよんだりする。（式についての考え）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法の学習のまとめの問題なので、これまでの学習を生かして問題解決できるようにする。</li> </ul> <p>【表・処】 乗法九九を使って、問題を解くことができる。（発表・ワークシート） 問題の内容を理解して、問題を解決することができる。 分からないところを質問するように助言する。</p>
	46	<p><b>九九の答えを使って直線を引き、その結果から各段の関連を見付けることができる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題文を読んで、3の段を例にやり方を考える。</li> <li>できた図を見て、気付いたことを話し合う。</li> </ul> <p>【数学的な考え方】身に付けた知識や考え方を基に、より新しいものを発見していこうとする。（発展的な考え方）</p>	<p>【考え方】 特徴のある模様ができているわけを考えることができる。（発言・話し合い） 問題の内容を把握し、特徴のある模様になるわけを考えることができる。 3の段を例に、やり方をつかみ、間違わずに直線を引くように助言する。</p>
る			

見通し1にかかわる実践 (第1時)

(1) ねらい 同じ数ずつのものが幾つかある、乗法の用いられる場面の特徴をつかむ。

(2) 準備

・児童 おもしろプリント(ワークシート)、筆記用具

・教師 皿にのっているお菓子などの具体物

(3) 展開 十分満足 おおむね満足 努力を要する児童への手だて

学習活動 (予想される反応)	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目 (評価方法)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p><b>おさらののっているものの数をしらべよう。</b></p> <p>2 具体物の操作を通して、乗法の用いられる場面を把握する。</p> <p>(1)どんなものがあるか見る。(チョコレート・あめ・キャラメル...)</p> <p>(2)どれだけあるか数える。(チョコレートが12個)</p> <p>(3)皿に幾つずつのっているか調べる。(チョコレートは3個ずつ、キャラメルは5個ずつ...)</p> <p>(4)同じ数ずつ皿にのっているものを抽出する。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルに置かれた皿にのっている具体物の数に着目して調べる本時のめあてをつかむ。</li> <li>・皿にのっているものの種類ごとの数を数えたり、1皿分の数を数えたりして、具体物の数に着目していくようにする。</li> <li>・テーブルの上から同じ数ずつ皿にのっているものを抽出し、黒板に掲示する活動を通して、同じ数ずつのっているものと、そうでないものがあることに気付いていくようにする。</li> <li>・2つの仲間があることをつかんだ上で、かけ算の用いられる場面の特徴を理解していくようにする。</li> </ul>	<p>【関・意・態】</p> <p>具体物の数に着目し、全部の数を表そうとしている。</p> <p>(観察・発言・ワークシート)</p> <p>具体物の数に着目して、気付いたことを表現しながら全部の数を求めようとしている。</p> <p>数に着目して考えることができない児童には、1皿を取り上げて、のっているものの数を数えたりしながら、何個や何個ずつの見方を引き出すようにする。</p>
<p>3 乗法の用いられる場面の表し方を考える。</p> <p><b>同じ数ずつあるものの、ぜんぶの数をあらわしましょう。</b></p> <p>(1)同じ数ずつあるものの全部の数の表し方を考える。(3個ずつ4皿分で12個)</p> <p>(2)ワークシートに記入する。</p>	23分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皿に同じ数ずつのっているものは、「こずつ」「皿分」で「こ」と表せることをつかんでいく。</li> <li>・ワークシートに、具体物の数を印で記入することにより、「こずつ」を理解していくようにする。</li> <li>・「こ」は、1から順に数える、2ずつまとめて数えるなどの児童の自由な操作により、見付けていく。</li> </ul>	
<p>4 本時のまとめをする。</p>	2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ数ずつのものが何個あるときは、「こずつ」「皿分」で「こ」と表したことを確かめる。</li> </ul>	

見通し1にかかわる実践 (第2時)

(1) ねらい 乗法の用いられる場面の特徴をつかみ、乗法の意味を理解する。

(2) 準備

- ・児童 おもしろプリント(ワークシート)、筆記用具
- ・教師 皿にのっているお菓子などの具体物

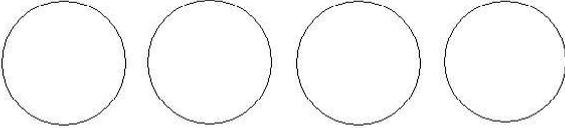
(3) 展開 十分満足 おおむね満足 努力を要する児童への手だて

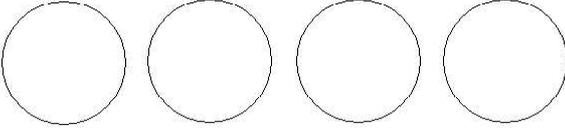
学習活動 (予想される反応)	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目 (評価方法)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>同じ数ずつあるものの、ぜんぶの数をもとめましょう。</p> </div> <p>(1)乗法の用いられる場面の表し方について思い出す。 (こずつ 皿分で こ)</p> <p>(2)乗法の式の書き方を知る。 ・乗法の記号「×」 ・乗法の式</p> <p>(3)乗法の意味について考える。(同じ数ずつのときにつかう計算。全部の数をもとめる計算。)</p>	35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時で使った具体物をもとに、「こずつ 皿分で こ」と表される乗法の用いられる場面の特徴を思い出す。</li> <li>・3個ずつ、4皿分で、12個を「<math>3 \times 4 = 12</math>」と書いて「3かける4は12」とよむことを知らせる。</li> <li>・かけるの記号「×」の書き順を知らせ、練習する。</li> <li>・同じ数ずつのものが何個かあるとき、全部の数を求める計算が「かけ算」であることを、これまでの具体物を使った操作を通して、つかむことができるようにする。</li> </ul>	<p>【知・理】</p> <p>具体物を用いた操作を通して、乗法の意味や式の書き方が分かる。(観察・発言・ワークシート)</p> <p>具体物を用いた操作を通して乗法の意味や式の書き方がわかり、乗法の意味について、自分の言葉で表現しようとしている。</p> <p>「1つ分の大きさ」「幾つ分」のキーワードを基に、乗法の意味をつかんでいくようにする。</p>
<p>2 本時のまとめをする。</p> <p>(1)新しい計算について思ったことを発表する。 (同じ数ずつになっている) (九九をはやく覚えたい)</p> <p>(2)確かめプリントの問題を解く。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かけ算」という新しい計算について学習し、思ったことや気付いたことを自由に発言できるようにする。</li> <li>・これからもっと「かけ算」について学習していきたいという気持ちを確かめ合い、次時の学習につなげていく。</li> <li>・乗法の意味がどれだけつかめているか、確かめプリントの問題を通して把握する。</li> </ul>	

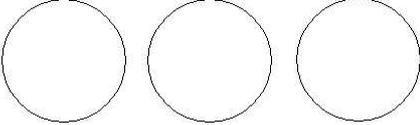
# おもしろプリント

2年( ) ばん・名前( )

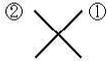
おさらに のっている ものの 数を しらべよう

 しき \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ こずつ \_\_\_\_\_ さらに分で \_\_\_\_\_ こ

 しき \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ こずつ \_\_\_\_\_ さらに分で \_\_\_\_\_ こ

 しき \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ こずつ \_\_\_\_\_ さらに分で \_\_\_\_\_ こ

ずつのものが  があるとき、  をもとめる計算 



見通し2にかかわる実践 (第5時)

(1) ねらい 「倍」の意味や、乗法の式と同数累加の式は同じ答えになることが分かる。

(2) 準備

- ・児童 教科書、おもしろプリント(ワークシート)、筆記用具、のり
- ・教師 紙テープ(4cmに切ったもの)、ポイントカード

(3) 展開 十分満足 おおむね満足 努力を要する児童への手だて

学習活動 (予想される反応)	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目 (評価方法)
<p>1 テープの1個分、2個分、3個分の長さを式で表し、答えを求める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>4 cmのテープがあります。1こ分、2こ分、3こ分は、何cmでしょうか。</p> </div> <p>(2こ分は、4cmが2こだから8cm。) (<math>4 \times 2 = 8</math>。) (ものさしではかって、しらべてみよう。)</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が身近に感じることが出来る紙テープを取り上げ、連続量についてもかけ算の式で表すことができることをつかむようにする。</li> <li>・実際に4cmのテープをプリントに貼り、1個分、2個分、3個分を、「1倍」、「2倍」、「3倍」ということをつかむようにする。</li> </ul>	<p>【知・理】</p> <p>テープを操作しながら「倍」の言い方が分かる。(発言・ワークシート)</p> <p>「倍」について考え、乗法の式と対応させて理解している。</p> <p>テープをワークシートに貼り、1個分と1倍を対応させながら理解を図る。</p>
<p>2 乗法の式と同数累加の式は、同じ答えになることをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>8こずつ入っているかんづめの、ぜんぶの数をもとめましょう。</p> </div> <p>( ずつ数える。 ) (2はこずつたして答えを求める。<math>8 + 8 = 16</math>。) (8こずつ6はこ分だから、<math>8 \times 6</math>で48はこ。)</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8個ずつ6箱ある缶詰の全部の数を求めるために、<math>8 \times 6</math>と乗法の式に表し、それは8の6倍であると考えたり、8を6回たして答えを求めればよいことなど、既習事項と関連付けながら学習を進める。</li> <li>・数をブロックに置き換えて操作する活動を通して、乗法の答えは同数累加の答えと同じになることをつかみ、乗法と加法を結び付けて考えることができるようにする。</li> </ul>	<p>【知・理】</p> <p>乗法の式と同数累加の式は、答えが同じになることが分かる。(発言・ワークシート)</p> <p>乗法の式と同数累加の式を関連付けて考え、答えが同じになることが分かる。</p> <p>ブロック操作を通して、乗法の答えを同数累加で求め、答えが同じになることをつかむようにする。</p>
<p>3 本時のまとめをする。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「倍」という言い方を知ったことを確かめる。</li> <li>・同数累加の簡潔な表現としての乗法の式の利点について考え、乗法への関心を高めるようにする。</li> </ul>	

# おもしろプリント

2年( ) ばん・名前( )

テープ 1こ分, 2こ分, 3こ分 は 何cm でしょうか

1こ分

.....

ばい

$4 \times 1 = 4$

2こ分

.....

$4 \times \square = \square$

3こ分

.....

$4 \times \square = \square$

かんづめ は, ぜんぶで 何こ ある でしょうか

① ぜんぶの 数をもとめる しきを かきましょう。 しき

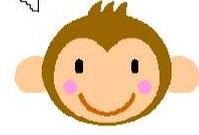
.....

② ぜんぶの 数は, 8この 何ばい でしょうか。

ばい

③ ぜんぶで 何こ ある でしょうか。

こ



.....

の答えは,

.....

の答えと同じです。

《さるくんへ》

見通し2にかかわる実践 (第25時)

(1) ねらい テープ1人分が8cmのときの何人分の長さを求める場面を通して、8の段の九九を構成する。

8の段の九九の構成を通して、答えの増え方のきまりや乗法の交換法則が成り立つことに気付く。

(2) 準備

・児童 教科書、おもしろプリント(ワークシート)、筆記用具、ブロック

・教師 テープ、ブロック、ポイントカード

(3) 展開 十分満足 おおむね満足 努力を要する児童への手だて

学 習 活 動 (予想される反応)	時間	支援及び指導上の留意点	評 価 項 目 (評価方法)
<p>1 問題場面を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>テープを1人に8cmずつあげて、リボンをつくります。3人分では何cmいるでしょうか。</p> </div> <p>(1)乗法の立式をする。 (2)答えを求める。 (8+8で16、16+8で24cm。) (ブロックや図から ずつ数えて、24cm。)</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題文やテープから、8の段の九九の学習であることをつかみ、既習の考え方を手掛かりに3人分のテープの長さを求めるようにする。</li> <li>既習事項を使って考えた児童の発言を認め、賞賛していく。</li> </ul>	
<p>2 8の段の九九を構成する。</p> <p>(1)自分で考えた方法で取り組む。 (答えの増え方のきまりを使って、8ずつたす。)</p> <p>(乗法の交換法則を使って、<math>8 \times 2</math>と<math>2 \times 8</math>の答えが同じと考え、習った九九で答えを求める。)</p> <p>(8の段の九九を使って、答えを求める。)</p> <p>(2)九九の構成の仕方を発表し、話し合う。</p>	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～7の段の九九を構成した経験を基に考えようとする、児童の取組を見取っていく。</li> <li>答えの増え方のきまりでは、8ずつ増える計算を念頭操作でできる児童もいるが筆算で確かめるようにする。</li> <li>交換法則をい、習った九九を使って答えを求めようと考えのよさを賞賛する。<math>8 \times 8</math>、<math>8 \times 9</math>では、この考えが使えないので、児童の思考を見守りながら支援する。</li> <li>自主的な学習により8の段の九九を覚えている児童には、答えの求め方の説明ができるように課題をもたせていくようにする。</li> <li>どのような考えを使って九九を構成したかを聞き取るようにする。</li> </ul>	<p>【考え方】</p> <p>乗法のきまりに気付きながら、九九の構成を考えることができる。 (観察・発言・ワークシート)</p> <p>乗法のきまりを使って、九九の構成を考えることができる。</p> <p>乗法のきまりに着目して考えるように助言する。</p>
<p>3 本時のまとめをする。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>答えの増え方のきまりや交換法則を使って考えることができたことを振り返るようにする。</li> </ul>	

【第 25 時 ワークシート (表)】

おもしろプリント

8のだんの九九をつくりましょう

8 × 1 =

考えたことをかきましょう

8 × 2 =

8 × 3 =

8 × 4 =

8 × 5 =

8 × 6 =

2年( ) ばん・名前( )

8 × 7 =

8 × 8 =

8 × 9 =

1 しき

答え

2  かける数が 1 ふえると、答えは

ということは・・・ 数 だけ ふえます。

 8のだんでは、答えは  ずつふえていくゾウ。

 ならった九九 も つかえるの？

【第 25 時 ワークシート (裏)】

8 × 2 の 答えは、 の 答えと おなじ。

8 × 3 の 答えは、 の 答えと おなじ。

8 × 4 の 答えは、 の 答えと おなじ。

8 × 5 の 答えは、 の 答えと おなじ。

8 × 6 の 答えは、 の 答えと おなじ。

8 × 7 の 答えは、 の 答えと おなじ。

3 8のだんの九九の絵をかきましょう。

3 しき

答え



チュウ チュウ  
この もんだい といてみて？

8 × 3 = 8 ×  + 8 ×

8 × 5 = 8 ×  + 8 ×

8 × 6 = 8 ×  + 8 ×

8 × 1 =  8 × 4 =  8 × 7 =

8 × 2 =  8 × 5 =  8 × 6 =

8 × 3 =  8 × 6 =  8 × 9 =

見通し3にかかわる実践 (第37時)

(1) ねらい いろいろな場所で、乗法九九を見付けることができる。

(2) 準備

- ・児童 おもしろプリント(ワークシート)、たんけんバック、筆記用具
- ・教師 デジタルカメラ

(3) 展開 十分満足 おおむね満足 努力を要する児童への手だて

学 習 活 動 (予想される反応)	時間	支援及び指導上の留意点	評 価 項 目 (評価方法)
<p>1 前時に立てた計画をもとに、身近なところで、乗法の用いられる場面を見付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>かけ算九九をつかって数えることができるものをさがしましょう。</p> </div> <p>(ロッカーが縦に3つで横に6つだから、<math>3 \times 6</math>で18こある。)</p> <p>(2つずつの窓が3つあるから、<math>2 \times 3</math>で6こある。)</p> <p>(なかなか見付けられない。)</p>	42 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きや発言・つぶやきを共感的に受け止めながら乗法九九が用いられる場面を探し、乗法が適用できる理由を確かめていくようにする。</li> <li>・デジタルカメラで児童の見つけたものを記録し、「九九を見つけたよ」新聞にまとめるときに活用する。</li> </ul>	<p>【考え方】</p> <p>乗法の用いられる場面を探し、式に表したり適用できる理由について考えている。(観察・発言・応答)</p> <p>乗法の用いられる場面を探すことができ、式に表したり、適用できる理由について自分で考えることができる。</p>
<p>2 本時のまとめをする。</p>	3 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な所から、乗法九九の用いられる場面を見付けることができたことを賞賛する。</li> <li>・次時は、見つけたものを新聞にまとめていくことを知らせる。</li> </ul>	<p>共に活動する中でいろいろな所に目を向けていけるように支援する。</p>

見通し3にかかわる実践 (第39時)

(1) ねらい 各自が作成した「九九を見つけたよ」新聞を発表し合い、乗法九九の活用について理解を深める。

(2) 準備

- ・児童 「九九を見つけたよ」新聞
- ・教師 デジタルカメラ

(3) 展開 十分満足 おおむね満足 努力を要する児童への手だて

学 習 活 動 (予想される反応)	時間	支援及び指導上の留意点	評 価 項 目 (評価方法)
<p>1 乗法九九の用いられる場面について、自分が見つけたものを発表し、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「九九を見つけたよ」新聞を発表し、気付いたことを話しましょう。</p> </div> <p>(いろいろなところにかかけ九九をつかって数えられるものがあるんだな。)</p> <p>(自分が見付けなかったものにも、かけ算で数えられるものがあった。)</p> <p>(いろいろなところでもっとさがしてみよう。)</p>	40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が見つけたものをみんなの前で発表する活動を通して、乗法についての理解を確実にする。</li> <li>・友達の発表もよく聞き、乗法の用いられる場面の理解を深めたり、計算を身近な問題解決に活用する力を育てるようにする。</li> </ul>	<p>【知・理】</p> <p>身の周りに、乗法九九が用いられる場面があることが分かる。(発表・話し合い)</p> <p>発表や話し合いを通して、乗法の用いられる場面がわかり、乗法と日常生活を関連付けて理解している。</p> <p>自分で発表したり、友達の発表を聞いたりする活動を通して、乗法九九が用いられる場面がたくさんあることを理解できるように助言する。</p>
<p>2 本時のまとめをする。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が「九九を見つけたよ」新聞を発表できたことを賞賛する。</li> <li>・発表を聞いて話し合ったことの中で、計算を問題解決に活用するよさや発展的な活動への意欲が感じられるものを取り上げて、その考え方を賞賛するようにする。</li> </ul>	